

ホタルと私たちの環境

自然環境と農の生業（なりわい） ～持続可能な社会を作るために～



稲沢に、ホタルがいるんだ。
うれしい。



聴いている生徒の間にガイガイと
入って、自然環境について語って
いただきました。

6/18 6・7限にて、NPO法人祖父江のホタルを守る会 理事長の山内晴雄先生をお招きし、ホタルに関するご講演をいただきました。ホタルは、夏の夜を彩る存在ですが、近年絶滅が懸念されています。このホタルを守る会は、長い研究のもと、「自生ヘイケボタルの保護活動」に注力して、自生ホタルの繁栄を目指すとともに、地域の活性化の両立・共存させていこうと活動されています。本校も、部活動の理科部がその一端を担い、多くを学び精力的に活動しています。

この講演は例年本校で行われ、今年のテーマは「自然環境と農の生業」でした。ホタル保護を突き詰めていくと、農の問題、特に農薬とどのように対応するのかという問題と向き合うこととなります。

農業の効率を上げることと、自然を保護することは、共生できるのか、この大きなテーマを、わかりやすい多くの事例とともに、熱くご講演いただきました。



高校生である私一人が行動することは難しいけど、将来今日学んだことを伝えていけるような人になりたいと思った。

まだ、働いていないので、そんなことを言える立場ではないけど、もし自分が農業とか自然にかかわるようなことをするときがきたら、人間と動物・植物のためを考えて行動していきたい。本来の地球のような、キレイな生態系を保ってあげたいと思う。

自分の町には田んぼや畑がたくさんある。10年後、20年後も続くように小さなこと一生懸命積み上げていけば、未来はきっとよいものになるだろう。

親類もお米を作っている人がいるので、いつも以上に考えながら聴きました。

心に残った言葉は、「田んぼは米だけを作っているのではない。」です。

(お年寄りの方が行うことが多くなった今の農作業では、)私たちが楽をしたいから、農薬を使うけど、生態系まで壊してしまうなんて。

虫が本当に嫌いで、いなくなればいいのに！と思っていたけど、いなくなると私たちの生活にも大きな影響があるんだ。

スーパーで、並んでいる野菜で、虫食いの穴があったら、買わなかったけど、これからは、ちょっと考えよう。



紹介スライドから、「環境改良実験」の様子

